

2022年3月17日

各位

外国投資法人名	ウィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド
代 表 者	クリストファー・フォールズ
管 理 会 社 名	ウィズダムツリー・マネジメント・ジヤージー・リミテッド (管理会社コード 16724)
代 表 者	スティーブン・ロス
問 合 せ 先	TMI 総合法律事務所
担 当 者	中川秀宣 (TEL 03-6438-5660)

LMEのニッケル取引の「再開」に伴う

WisdomTree ニッケル上場投資信託についての注意喚起のお知らせ

ウィズダムツリー・マネジメント・ジヤージー・リミテッド（以下「本管理会社」といいます。）を管理会社に、ウィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド（以下「本発行体」といいます。）を外国投資法人として東京証券取引所に上場する以下のETF銘柄（以下「本ETF銘柄」といいます。）について、2022年3月15日付でお知らせしましたとおり、LMEは一時停止しておりましたニッケル取引を英国時間2022年3月16日午前8時より再開しましたので、以下の通りお知らせします。

本ETF銘柄	コード
WisdomTree ニッケル上場投資信託 (ニッケルETF)	1694

記

(背景)

The London Metal Exchange（ロンドン金属取引所：LME）は、英国時間2022年3月7日（日本時間3月8日）のニッケル先物取引価格の極端かつ連続的な変動を受けて、英国時間翌3月8日（日本時間3月9日）付でニッケル取引市場での取引の一時停止を決定しておりました（注1）。

(注1) <https://www.lme.com/-/media/Files/News/Notices/2022/03/22-053-Nickel-Suspension---Further-Information---Delivery-Deferral-and-Trade-Cancellation.pdf>

(取引の再開)

LMEは、ニッケル取引（契約締結）を英国時間2022年3月16日（水）午前8時（日本時間3月16日午後2時、以下「再開日」といいます。）に再開し、一度中断しましたものの、

同日午後 2 時（日本時間同日午後 11 時）に再開しました。

この日は、取引価格は、再開直後から下落し、日次下限価格（注 2）に達して、そのまま終了しました。そのため、LME は終値（Closing Price）を決定しないと公表しました。（注 3）。

（注 2） LME は、ニッケル取引の値幅制限について、過去 3 ヶ月の終値平均の通常±15%のところ、取引一時停止の直前では±10%を目安と制限しており、取引再開時の英国時間 2022 年 3 月 16 日は、取引価格の急変動を避けるため、±5%としておりました。

（注 3） <https://www.lme.com/api/sitecore/MemberNoticesSearchApi/Download?id=1a4acc2e-1d42-4230-b9de-8fcbd36228c1>

なお、LME は、明日（英国時間 3 月 17 日）からの値幅制限につき、±5%を±8%に増加させる旨を公表しております。（注 4）

（注 4） <https://www.lme.com/api/sitecore/MemberNoticesSearchApi/Download?id=6e62a24b-f950-4524-bba1-20d8ff93ad7b>

本 ETF 銘柄は、Bloomberg Nickel Subindex を対象指数としており、同指数に連動する ETF の運用を目指しスワップ・カウンターパーティー（Merrill Lynch International 及び Citigroup Global Markets Limited）と契約した OTC デリバティブ契約を運用資産としております（注 5）。この点、同対象指数を提供します Bloomberg は、LME でのニッケル先物取引の一時停止により、これまで、同対象指数のための採用値は取引一時停止日の 2022 年 3 月 7 日（日本時間 3 月 8 日）の数値を採用し続けておりましたが、取引再開を受けて、更新を再開しました。

（注 5） <https://www.jpx.co.jp/equities/products/etfs/issues/files/1694-j.pdf>

上記により、同対象指数とそれに連動する本 ETF 銘柄の「一口あたりの純資産額」も、更新を再開しておりますが、取引価格が日次下限価格に達したことを受けて、対象指数も下落しており、これに伴い「一口あたりの純資産額」も下落しております。LME での取引価格の混乱は当面継続すると見込まれます。本 ETF 銘柄の取引価格との間で乖離が生じ易くなっています。本 ETF 銘柄を売買する際には、十分にご注意下さい。

投資家の皆様におかれましては、以上ご留意の上、ご投資いただきますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

以上